

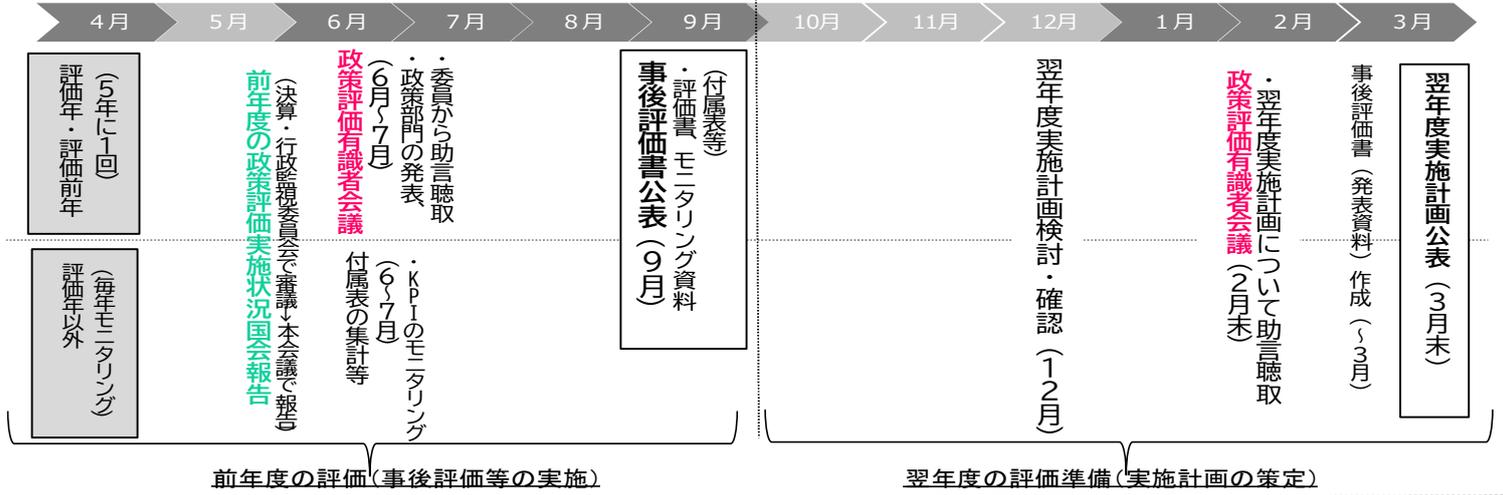
・効果的・効率的な行政を推進、国民への説明責任を果たす

# 「政策評価制度の活用」

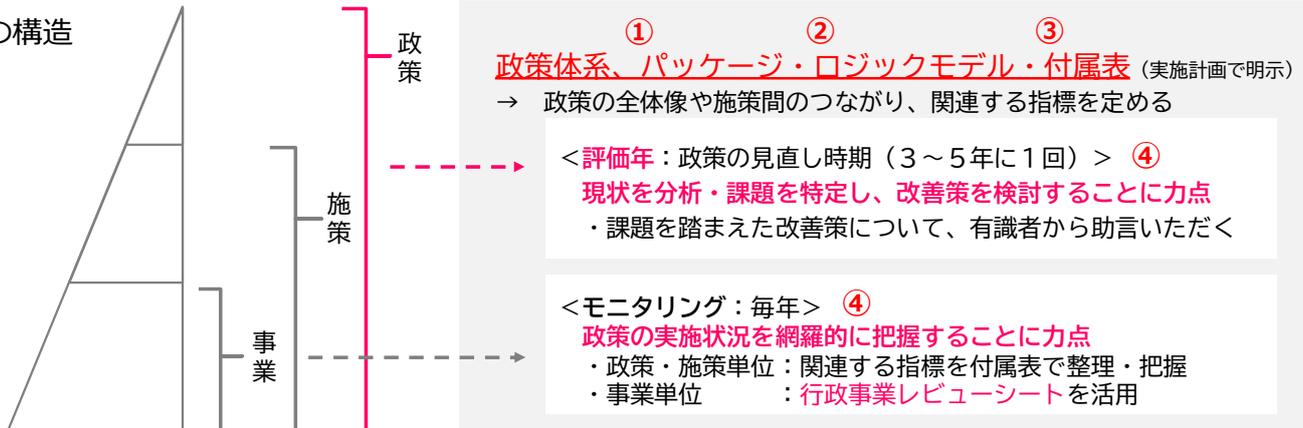
## 制度の概要

- **評価の基本計画（3～5年ごと）を策定し、概ね5年ごとに事後評価を実施（モニタリングは毎年実施）**  
⇒政策体系が整理され、目標に向けた**ロジックや効果を測るKPIが明確、モニタリングしやすい**
- **評価結果は総務省に報告後、各省HPに公表。次年度、国会報告**  
⇒第三者の目による評価の実施、法務大臣の決定、評価結果の国会報告、国民への公表を経るため、**施策の正当性・効果を積極的に説明できる**

## ○標準スケジュール



## ○評価の構造

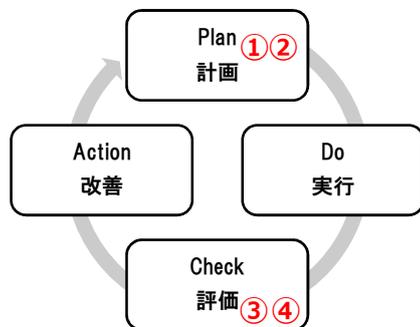


### ① 施策群をパッケージ化

### ② 目標達成の道筋をロジックモデル化

### ③ 施策実施による活動目標・成果目標にKPIを設定 (付属表で年度ごとに進捗管理)

### ④ 外部有識者・総務省・国会によるチェック



## 矯正行政の政策体系

### 基本政策

法秩序の確立による安全・安心な社会の維持 (犯罪被害者等のための施策及び再犯防止対策を含む。)

### 政策

矯正処遇の適正な実施

#### 施策①

矯正施設の適正な保安警備及び処遇体制の整備

#### 事業

- ① 矯正施設の保安及び処遇体制の整備
- ② 矯正の企画調整の実施

#### 施策②

矯正施設における収容環境の維持及び適正な処遇の実施

#### 事業

- ① 受刑者就労支援体制等の充実
- ② 地域生活定着支援の推進
- ③ 被収容者生活関連業務の維持
- ④ 社会復帰に必要な刑務所作業の実施
- ⑤ 留置施設の維持管理に係る実費償還

#### 施策③

矯正施設の適正な運営に必要な民間委託等の実施

#### 事業

- ① 刑事施設の民間委託運営
- ② PFI刑務所の運営

## 目指すべき姿

被収容者の収容を確保し、その人権を尊重しつつ、法的地位に応じた適切な処遇を実施することにより、刑事・少年司法手続の円滑な運用に寄与するとともに、犯罪・非行をした者の再犯・再非行を防止し、新たな犯罪被害者を生じさせない。

## 施策群と施策

※検討中の再発防止策を赤字で挿入

## 1.改善更生・円滑な社会復帰に向けた矯正処遇の実施

## ○処遇上配慮を要する者に対する処遇体制の充実強化

- アセスメント機能の充実強化 (④)
- 刑務作業・職業訓練等の実施 (①)
- 特性に応じた指導・教育の実施 (④)
- 効果検証・調査研究の実施 (④)

## 2.多機関連携による社会復帰支援の実施

- 就労に向けた相談・支援の充実 (①)
- 福祉関係機関等と連携した支援・調整の実施 (②)
- 学校等と連携した修学支援 (③)



## 3.適正な矯正処遇のための基盤・環境の整備

- 組織風土の改善
- 矯正施設の適正な管理運営 (⑦)
  - ・ 耐震対策等の収容環境の整備
  - ・ 管理監督体制の強化
  - ・ 警備用機器の整備、効果的な活用
  - ・ 研修・訓練を通じた職員の意識改革、職務執行能力の向上
  - ・ 業務効率化、省力化
- 適正な保健医療提供体制の確保・整備 (⑦)

## 4.開かれた矯正に向けた取組の推進

- 地域と連携した取組の推進 (⑥)
  - ・ 災害発生時の支援活動
  - ・ 矯正施設と自治体等との連携
  - ・ 法務少年支援センターによる地域援助の実施
- 適正な運営の確保
  - ・ 視察委員会等から意見聴取制度の運用改善
  - ・ 内部監査の充実強化
  - ・ 不服申立制度の運用改善



※ ( ) 内の番号は再犯防止推進計画における7つの重点課題の項番に該当

## その他政策評価に当たり把握する事項

※各年度の実施状況等の把握に当たっては、再犯防止推進白書等も活用

- |                              |                  |
|------------------------------|------------------|
| ・ 矯正予算の金額                    | ・ 矯正職員を志望した者の数   |
| ・ 矯正官署の数・職員定員 (刑・少・鑑)        | ・ 職員の年次休暇取得日数    |
| ・ 新規採用者数とこれに占める女性の割合 (刑・少・鑑) | ・ 職員の育児休業取得日数、割合 |

被収容者の収容を確保し、その人権を尊重しつつ、法的地位に応じた適切な処遇を実施することにより、刑事・少年司法手続の円滑な運用に寄与するとともに、犯罪・非行をした者の再犯・再非行を防止し、新たな犯罪被害者を生じさせない。  
 ※検討中の再発防止策を赤字で挿入



政策名

矯正処遇の適正な実施

活用イメージ（③付属表・KPI）

目指す姿

被収容者の収容を確保し、その人権を尊重しつつ、法的地位に応じた適切な処遇を実施することにより、刑事・少年司法手続の円滑な運用に寄与するとともに、犯罪・非行をした者の再犯・再非行を防止し、新たな犯罪被害者を生じさせない。

施策群 1・2

改善更生・円滑な社会復帰に向けた矯正処遇の実施/多機関連携による社会復帰支援の実施

活動目標（アウトプット）

受刑者等一人一人の特性を把握し、専門的な知見・分析等に基づく処遇等の計画を作成し、組織内で共有する  
 処遇計画等に基づき、職員が外部専門職等とも連携しながら、改善更生や円滑な社会復帰に向けた生活指導、教育・訓練を行う  
 円滑な社会復帰に必要な支援（就労・住居・福祉等）に応じて、関係機関・団体等との調整を行い、必要な支援体制を構築する  
 専門的な知見や効果検証等を踏まえた処遇等を実施する

指標の種類	指標の名称	指標の定義	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
2	定量	新受刑者等の特性（性別・罪名別人数、高齢化率、精神障害者数）	新受刑者及び新収容者の男女別人数	男				
				女				
			新受刑者及び新収容者の罪名（非行名）別人数					
			新受刑者及び新収容者の高齢化率（新受刑者に対する高齢受刑者の割合）					
		新受刑者及び新収容者の精神障害者数						
2	定量	専門職（社会福祉士、精神保健福祉士）が配置されている施設数	専門職（社会福祉士、精神保健福祉士）が配置されている施設数					
2	定量	刑務作業における一日平均就業人員	刑務作業における一日平均就業人員					
2	定量	職業訓練等の実施状況（受講者数、受講率、資格等取得者数）	職業訓練及び職業指導の受講者数、受講率（職業訓練のみ）、資格等取得者数（主な科目別）	受講者数 受講率 資格等取得者数				
2	定量	特別改善指導の受講開始人員	特別改善指導の受講を新たに開始した受刑者の人数（指導内容別）	薬物依存離脱 暴力団離脱 性犯罪再犯防止 被害者の視点 交通安全 就労支援				
2	定量	特定生活指導の受講修了人員	特定生活指導の受講を修了した在院者の人数（指導内容別）	被害者視点 薬物非行防止 性非行防止 暴力防止 家族関係 交友関係 成年社会参画				
2	定量	教科指導の受講開始受刑者の人数	教科指導（補習教科指導、特別教科指導別）の受講を新たに開始した受刑者の人数					

3	定量	就労支援対象者の数	就労支援対象者の数					
3	定量	就労支援スタッフ等による面接等受講人数	就労支援専門官又は就労支援スタッフによる講話や面接指導等を受けた人数（延べ人数）					
3	定量	コレワークの活動実績（相談受付件数）	事業者からの相談件数					
3	定量	高齢、障害のある者の数	新受刑者のうち、高齢者や精神障害のある者の数					
			新入院者のうち、精神障害のある者の数					
3	定量	福祉サービス等の利用に向けた調整を行った人数	福祉サービス等の利用に向けた調整を行った受刑者等の数					
3	定量	高等学校卒業程度認定試験の受験者数、合格者数及び合格率	高等学校卒業程度認定試験の受験者数、全科目合格者数及び合格率	受験者数				
				全科目合格者数				
				合格率				

成果目標①（アウトカム） 関係機関や地域等の理解や協力も得ながら、専門性に裏付けられた知見に基づく再犯・再非行防止に向けた教育や社会復帰のための支援を受ける

指標の種類	指標の名称	指標の定義	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
7	定性	期間中に効果検証センターにおいて実施した効果検証及び調査研究の概要・結果					
	定量	期間中実施した効果検証、調査研究の概要・結果	令和2年から令和6年の各年における刑事施設出所者について、刑事施設において特別改善指導、教科指導を受講した者の2年未満再犯率（刑事情報連携データベースシステム（SCRP）の簡易画面による算出数値）				
7	定性	再犯防止等に向けた教育・社会復帰支援の実施に係る関係者・団体（当事者含む）の声	・教育・支援等に関連する各種会同等での各庁意見、課題等の概要 ・職員や関係団体、元受刑者などへのインタビュー、フォーカス・グループの結果 ・釈放時アンケート結果（受刑者からのフィードバック）				

成果目標②（アウトカム） 個々の受刑者等の状況に応じて社会における就労・住居等の生活環境が整えられる

指標の種類	指標の名称	指標の定義	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
8	定量	在所（院）中に就職が内定した者の数	就労支援対象者について、ハローワーク等の関係機関の支援により、刑事施設在所・少年院在所中に就職が内定した者の数				
8	定量	在所（院）中に福祉サービス等の支援につながった者の数	在所（院）中に福祉サービス等の支援につながった者の数				
8	定量	出院時に復学・進学決定した者の数とその割合	出院時に復学・進学決定した者の数及びその割合	決定人数			
				割合			
8	定性	（再掲）再犯防止等に向けた教育・社会復帰支援の実施に係る関係者・団体（当事者含む）の声	就労支援等に関連する各種会同等での各庁意見等				

<b>施策群 3</b>		適正な矯正処遇のための基盤・環境の整備						
活動目標 (アウトプット)		収容を確保し、安全で、改善更生に向けた処遇に必要な機能を備えた環境を整備する						
		矯正処遇に必要な専門性を身に付けた職員を育成し、配置する						
		社会一般と同程度の医療水準を確保する						
指標の種類	指標の名称	指標の定義	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
1	定量	年末収容人員・収容率	刑事施設の年末における収容人員					
			上記収容人員のその収容定員に対する割合					
1	定量	収容施設の耐震化率	所管収容施設の総延べ面積に対する現行の耐震基準に合致している建物の総延べ面積の割合					
1	定量	期間中、警備機器等の更新整備が計画に基づき完了した庁数の割合	期間中、警備機器等の更新整備が計画に基づき完了した庁数の割合					
1	定量	保安警備に関する訓練実施状況 (回数・人数)	保安警備に関する訓練の回数及び参加人数	回数				
				参加人数				
1	定量	常勤医師の充足率 (定員・現員)	矯正施設における常勤医師の全国の充足率 (定員・現員)					
1	定量	医療スタッフ (看護師等) の数	矯正施設における常勤の医療スタッフ (看護師、薬剤師、診療放射線技師、栄養士、臨床・衛生検査技師、理学療法士、臨床工学技士、作業療法士) の数					
1	定量	患者数と主な疾病	矯正施設における全国の患者数 (休養・非休養)					
	定性		上記の主な疾病 (休養・非休養を含めた患者数の多い疾病分類のうち上位3分類)					
成果目標 (アウトカム)		被収容者処遇が適切に行われ、安定的に施設が運営される						
指標の種類	指標の名称	指標の定義	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
6	定量	保安事故件数	保安事故の内容別件数					
6	定量	職場環境に関する職員の声	職場環境に関する職員アンケート結果					
<b>施策群 4</b>		開かれた矯正に向けた取組の推進						
活動目標 (アウトプット)		地域のニーズ、課題を把握する						
		ニーズ等に対応した取組を矯正施設と地域が連携して進める						
		視察委員会等を通じて、矯正施設の運営に第三者の視点や意見を取り入れる						
指標の種類	指標の名称	指標の定義	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
4	定量	災害協定等を締結している自治体の数	災害協定等を締結している自治体の数					
4	定量	その他自治体等との連携状況	矯正施設所在自治体会議参加数 (各年度当初時点)					
4	定量	災害復旧その他救援活動派遣実績	災害復旧その他救援活動に派遣した延べ人員及びその活動内容	延べ人員				
	活動内容							
4	定量	法務少年支援センターによる地域援助実施件数	法務少年支援センターによる地域援助実施件数					
4	定量	矯正施設の参観人数	全国の矯正施設の参観に訪れた人数					

5	定量	視察委員会の活動状況（委員数、開催・視察・面接の回数、意見の数）	視察委員会の委員数、開催・視察・面接の回数、意見の数	委員数					
				回数					
				意見数					
5	定量 定性	矯正施設における不服申立ての状況	①刑事施設の被収容者の不服審査に関する調査検討会開催数 ②同検討会への付議件数 ③提言数 （上記③があった場合）提言の概要	開催数					
				付議件数					
				提言数					
				提言の概要					

成果目標（アウトカム）  
 施設運営の透明性が確保され、改善が図られる  
 関係機関や国民が、施設の実情・取組等を知る機会が増加する

指標の種類	指標の名称	指標の定義	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
9	定性	矯正施設に対する地域住民等の声	施設参観参加者へのアンケート結果				

成果目標（長期アウトカム）  
 受刑者等が円滑に社会復帰でき、再犯・再非行することなく社会生活を送ることができるようになる  
 幅広い国民から、矯正施設を含む刑事司法制度や再犯防止・更生支援に対する理解・協力を得られるようになる

指標の種類	指標の名称	指標の定義	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
10	定量	令和2年から令和6年の各年における出所受刑者の2年以内再入率					
		令和2年から令和6年の各年における少年院出院者の2年以内再入院率					

政策等の現場（所管各庁）の意見を把握する仕組み	・矯正官署幹部職員等を対象とした各種協議会の実施
政策等実施上の関係者（機関・団体）や政策等の対象となる者（利用者）の意見を把握する仕組み	・刑事施設における釈放時アンケートの実施 ・少年院における出院時アンケートの実施 ・各種プログラムの策定・改訂に係る検討会等の実施
次年度以降の政策等実施に当たり対処すべき課題	（関係する施策群）
	（関係する施策群）
	（関係する施策群）

その他総合評価実施時に参考とする事項	・矯正予算の金額 ・矯正官署の数・職員定員（刑・少・鑑） ・新規採用者数とこれに占める女性の割合（刑・少・鑑） ・矯正職員を志望した者の数 ・職員の年次休暇取得日数 ・職員の育児休業取得日数、割合
--------------------	---